

# [ ] 中学校特別支援学級 生活単元学習 展 開 案

平成23年度11月2日13:30

学 級 [ ]

(1年男子3名 女子2名 2年女子2名 3年男子2名 計9名)

場 所 [ ]

指 導 者 [ ]

1 単元名 「ふれあい文化祭の展示作品を制作しよう～モダンテクニックを使用して～」

2 展開

| 段 階                       | 学 習 内 容 お よ び 学 習 活 動   | 指 導 上 の 留 意 点<br>(教師の指導○ 評価◎ 研究との関わり☆)  |
|---------------------------|---|---|
| 導<br>入<br><br>1<br>0<br>分 | 1. エナジャイザーを行う。<br>2. 学習内容の確認をする。<br>3. 作品に込める思いの発表をする。<br>4. 学習課題を把握する。 | ○エナジャイザーを行い、学習に対する意欲を喚起させる。<br>○本時の学習を提示し、視覚的に学習内容を把握させ、見通しをもたせる。<br>◎関心・意欲・態度<br>意欲的に話し合いに参加し、自分の考えを発表することができたか。<br>☆【自己決定の重視】<br>○計画表を使って、自分の思いや考えを発表させ、作品制作の目的を意識づける。<br>○友達の発表を聞いて、自分の作品と同じ点、違う点をイメージさせる。<br>○Hさんが進行役を務め、順番を決めて発表する。<br>○Fさんの状態に応じて、個別の対応を行い、その場で可能な最善の方法で支援する。<br>○本時の学習課題をみんなで読み上げ、課題について確認させる。 |
| 展<br>開<br><br>3<br>7<br>分 | 学習課題 モダンテクニックを使ってウミウシに彩色しよう。<br>5. モダンテクニックの技法を使い作品を制作する。               | ○計画表を使って、モダンテクニックの技法を確認し、自分の思いをどのように表現するか確認して制作に取り組ませる。<br>☆【共感的理解の育み】<br>○一人一人の目標を確認し、見通しをもって活動できるように配慮する。<br>○先を急いで作業が雑になるAさんには、「すこしづつ」「あせらない」ことを伝える。<br>○作業することに苦手感が強いBさん、Eさん、Dさんには友達の作業の様子を見せながら、自分から「なんとかなる」という気持ちをもって取り組めるように励ます。<br>◎関心・意欲・態度<br>意欲的に作品制作に取り組むことができたか。   |
| 終<br>末<br>3<br>分          | 6. 感想を発表する。<br>7. 本時のまとめと次時の確認をする。                                      | ○制作しての感想を発表させる。<br>☆【共感的理解の育み】<br>○活動の様子についてまとめ、次時の予告を行って、意欲を次につなげる。  |